

2021 - 22 年度 国際ロータリーのテーマ
『奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために』
RI 会長 シェカール・メータ

川崎北ロータリークラブ会長の方針
『未来の川崎北ロータリークラブのために』
会長 峯岸 雅宏

Rotary
川崎北ロータリークラブ

川崎北ロータリークラブ会報



会 長 峯岸 雅宏 幹 事 松下 幸夫 会報委員長 大塚 正一
事務所：〒211-0063 川崎市中原区小杉町 3-70-4 ホーユウパレス武蔵小杉 104 Tel. 044-722-8037 メール：knrc@nifty.com
URL：http://kawasaki-north-rc.blue.coocan.jp/ 例会：毎週水曜日 12：30 二子玉川エクセルホテル東急

令和 4 年 5 月 18 日 (水)

職場訪問：昭和電工（株）川崎事業所 プラスチックケミカルリサイクル推進室

参加者

参加者：23 名（会員 22 名、ゲスト 1 名）

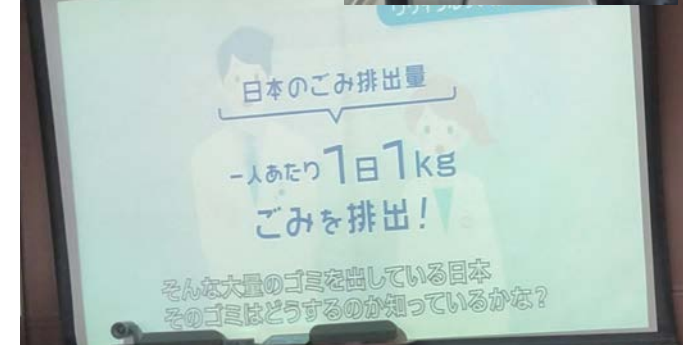
峯岸会長、米山副会長、松下幹事、半澤会員、生垣会員、
洪会員、川野会員、松田会員、丸山会員、宮崎会員、
大部会員、小澤会員、大塚会員、相良会員、齋木会員、
末永会員、鈴木会員、谷口会員、戸川会員、豊見山会員、
柳澤会員、横山会員 ゲスト：加藤欣吾様

プラスチックのリサイクルには「マテリアルリサイクル」と「ケミカルリサイクル」という 2 つの方法があります。

「マテリアルリサイクル」とは、使用済みのプラスチックを熱で溶かして、新たなプラスチック製品を再生することを言います。

それに対して、「ケミカルリサイクル」は使用済みのプラスチックを熱分解して化学原料などにガス化し、それらをアンモニアや炭酸製品などに生まれ変わらせます。

この工場では、一日 200 トン、年間 64,000 トンの処理能力があります。ただ、一年間とおしてプラスチック処理ができるわけではなく、自然環境保全の面から、その作業をできない期間が決められているとの話でした。



末永職業奉仕委員長に手配いただき、昭和電工（株）川崎事業所でプラスチックゴミのリサイクル工程を見学してきました。

この施設では、日本中からプラスチックゴミを回収し、リサイクルをしています。神奈川県内で言うと、県内のほぼ全ての（95%）自治体のプラスチックゴミをリサイクルしています。各自治体は毎年入札でプラスチックゴミの回収・処理業者を選ぶとのこと、ライバル会社としては JFE などがあるそうです。



マスコットキャラクター、けびあ君
(参加者全員にプレゼントされました)



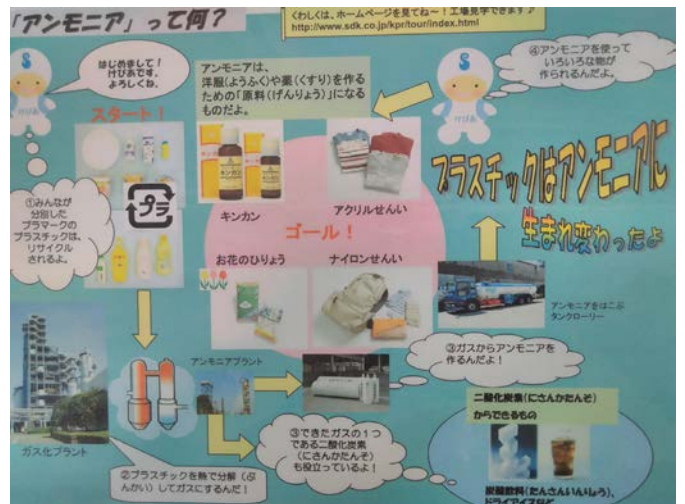
リサイクル処理を待つ、大量のプラスチックゴミ



リサイクルで作られた製品



2016年、この川崎事業所もシン・ゴジラに破壊され、大きな被害を被りました。しかし、あれから6年今では以前の姿を取り戻し、日夜CO2削減の課題に取り組んでいます。



懇親会で乾杯！
会場：中華街 廣東飯店 (横浜 RC 会員)